

**1. 次の場合は直ちに救急車（119番）を呼ぶ**

- 意識障害：意識がない、もうろうとしている
- 呼吸停止・呼吸困難
- 頭痛：頭を強く打って嘔気・嘔吐がある時
- 頭痛：今まで経験したことのないような強い痛みがある時
- けいれんを起こしている時
- 激痛の持続するもの
- 多量の出血を伴うもの
- 大きな開放創をもつもの
- 広範囲の火傷を受けたもの
- 骨折の疑いがある時
- その他、判断に迷う時には119番通報する

**2. 「119番」をかけた時の電話対応について**

救急隊	スタッフ
火事ですか?救急ですか?	「救急です。」
住所はどちらになりますか?	「【 】市【 】番地【 】です。」住所と会場名を言う。
状況を教えてください。	「だれが（傷病者の名前）、いつ（時間）、どこで（施設名）、どうして（ケガ・病気の原因）、どうなった（傷病者の状態）」を伝える。
お使いの電話番号は?	「〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇です。」使用している電話番号を言う。
あなたのお名前は?	「〇〇です。」
どこへ行けばよいですか?	「〇〇へお願いします。」「スタッフが誘導します。」
	救急車が到着するまでしておくべきことがあるかどうかを聞く。

**※確認記載事項**

- 【住所】  
 【会場名】  
 【AED 設置場所】

**3. 救急車を要請したら**

(1) 役割分担をして、傷病者の手当てと状況の現場の管理を行う。

- ①傷病者の手当て・観察
- ②救急車の誘導
- ③AEDの準備
- ④傷病者の「自己診断票・参加同意書」を準備およびJBA報告用に写メ等撮影しておく。
- ⑤緊急連絡先への連絡（「自己診断票・参加同意書に記載」）
- ⑥JBA審判担当マネージャー宇田川に連絡

携帯 070-3192-1947 繋がらない時はメール jba-ref@basketball.or.jp

(2) 注意事項

- ①頸椎（首）のケガが疑われる場合、声をかけて意識を確認し、動かさずに救急車の到着を待つ
- ②嘔吐がある場合は身体を横にする

**4. 救急車が到着したら**

- ①傷病者に行った手当ての内容を報告
- ②「自己診断票・参加同意書」を渡す
- ③救急車には、傷病者についてよく知っている者、保護者に対応するスタッフが同乗する

**5. 緊急対応が終わったら**

体カテスト様式4号「傷病・事故報告書」に傷病対応を記入し、JBA審判へ提出（救急車要請をした場合のみ）。